

# 「岐阜県みどりの少年団交流集会」を開催しました

岐阜県みどりの少年団交流集会を、8月8日の「第4回ぎふ山の日フェスタ」に併せ、県立森林文化アカデミーにおいて開催しました。

みどりの少年団交流集会では、メイン行事の「みどりの少年団活動発表」のほか、プロバットマイスターの久保田五十一氏の講演会やイベント会場でのクラフトなどの活動を通じて、参加少年団13団110名(引率者含む)が交流を深めました。

活動発表では、久瀬みどりの少年団(揖斐川町)、旭小みどりの少年団(可児市)、上原小学校みどりの少年団(下呂市)の発表及び昨年度最優秀に選ばれた加子母みどりの少年団の特別発表が行われ、日頃の緑化推進活動や林業体験学習などの取り組みを元気に発表してくれました。

審査の結果は、審査委員長の遠藤関市立瀬尻小学校長から講評の後発表され、今年度の最優秀には上原みどりの少年団が選ばれました。

上原みどりの少年団には、来年青森県で行われる第21回緑の少年団全国大会(2泊3日の交流活動)に参加していただくことになっています。

【(社)岐阜県緑化推進委員会 事務局長 佐藤正吉】



▲岐阜県緑化推進委員会 石川理事長のあいさつ



各少年団との  
楽しい交流が  
いっぱいあったよ!



▲活動発表の様子



熱心に活動発表を聞いている参加少年団▲



◀岐阜県の参加者

# 「第34回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」を開催しました

東海三県のみどりの少年団が一堂に集い、自然の中で緑の大切さを学び、交流を深めるみどりの少年団サマージャンボリー(愛知県・岐阜県緑化推進委員会、三重県緑化推進協会、三菱UFJ環境財団、中日新聞社主催)を、愛知県新城市門谷地内の「愛知県民の森」において8月3日から5日までの日程で開催しました。

遅くまで豪雨をもたらした梅雨もようやく明け、待ちに待った青空のもとで愛知・三重・岐阜県の21少年団140名(引率者含む)による第34回サマージャンボリーを開催しました。今年は、豊かな森林に包まれた「愛知県民の森」において2泊3日の日程で開催し、「伐採見学」、「丸太切り」、「草木染め」、「草笛教室」などの森林体験学習のほか、「チェーンソーアート見学」、「はんごう炊飯」、「鮎のつかみ取り」、「キャンプファイヤー」などの共同生活やレクリエーションなど盛りだくさんの行事をこなしました。

岐阜県からは、多良峡もみじ少年団(大垣市)、一之瀬みどりの少年団(大垣市)、久瀬みどりの少年団(揖斐川町)の17名(引率者含む)が参加し、共同生活を通じて活発に愛知県、三重県の少年団の子供たちと交流を深め、楽しい思い出をいっぱい持って帰宅しました。【(社)岐阜県緑化推進委員会 事務局長 佐藤正吉】



▲伐採したヒノキの樹高を測っている様子



▲草笛教室



▲鮎のつかみ取りの様子